

中間市教育委員会

定例教育委員会会議録

(平成30年10月)

- 1 日 時 平成30年10月3日(木) 10時00分
- 2 場 所 市庁舎 本館 第一委員会室
- 3 出席委員 河本委員 衛藤委員 坂口委員 齊田委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局出席者 片平教育長 田中教育部長
松永学校教育課指導室長 村上教育施設課長
小野学校指導課長 大内生涯学習課長
池田学校教育課長補佐 田口学校指導課長補佐
友廣生涯学習課長補佐 山本学校教育課総務係長
- 6 傍聴人 2人
- 7 議事日程 別紙のとおり
- 8 議事次第 別紙のとおり

定例教育委員会議事日程

平成30年10月3日（木）10時00分

- 1 前回の議事録の承認
- 2 報告事項
 - (1) 平成30年10月学校教育行事及び社会教育行事について
 - (2) 第2回中間市学校給食費検討委員会について
 - (3) 中間市小学校体育会への出席について
 - (4) 少年主張大会とスペースウォッチ講座について
- 3 協議事項
 - (1) 平成30年11月定例教育委員会の開催について

[開会時刻：10時00分]

田中教育部長	おはようございます。定刻となりましたので平成30年10月定例教育委員会を開催いたします。教育長よろしく願いいたします。
片平教育長	それでは、平成30年10月定例教育委員会を行います。 まず最初に前回の議事録の承認をお願いいたします。 よろしいでしょうか。
各委員	はい。
片平教育長	承認ということで。 続きまして、報告事項に入らせていただきます。 まず、平成30年10月学校教育行事及び社会教育行事について、最初に学校教育行事の説明をお願いいたします。
小野学校指導課長	はい。まず10月の行事です。最初に共通行事です。4日木曜日就学時健康診断が行われます。4日は底小、東小、中間小学校校区です。同日校長会議があります。11日木曜日にも就学時健康診断で、北小、南小、西小学校校区です。この日に教頭会議を予定しております。19日金曜日、中間東中学校の研究発表会となっております。28日日曜日、生涯学習課の事業ですが、小学生相撲大会が南小学校の相撲場で行われます。以上です。 各学校の行事にうつります。底井野小学校です。19日に社会見学、25日、26日、27日に宿泊学習があります。5年生は2泊3日ですが、4年生は25、26日の1泊2日となっております。 続いて東小学校です。6日土曜日に東小学校フェスタが行われます。19、20日で5年生の宿泊体験学習が行われます。 中間小学校は26日に社会見学が行われます。 北小学校です。15日月曜日に北っ子ビオトープ落成式が行われます。16、17日で5年生の宿泊学習になっています。27日土曜日に夢まつり、東小学校フェスタと同じような事業内容です。 南小学校です。24日水曜日に授業参観・学級懇談会が行われます。 西小学校です。15日月曜日に、赤ちゃんふれあい体験事業、20日土曜日に西小学校まつりが行われます。 中学校にうつります。10月上旬に3年生の実力テストが4中学校で行われます。

東中学校です。4日、5日に中間考査。12日金曜日に1学期に中間中学校と東中学校で行われました、「中学生の未来に贈るコンサート」が北中学校、南中学校の生徒を対象にハーモニーホールで行われます。

北中学校、24日に立会演説会、生徒会改選が行われます。

南中学校です。19日金曜日に生徒総会が行われます。

東中学校校区ですが、31日水曜日に小中連携会議が行われる予定です。以上です。

片平教育長 ただいま、学校教育行事の説明がございましたが、1日、2日について東小学校以外の小学校は振替え休日になっていますが、これは为什么呢か。

小野学校指導課長 9月30日に予定の体育会が台風のため延期となり、10月2日に体育会が行われております。報告が遅くなってすみません。

片平教育長 それでは、学校教育行事について、ご質問、ご意見ございませんでしょうか。

衛藤委員 いくつか質問いたしたいと思いますので、よろしく願いいたします。共通行事ですが、県の事業で「県重点課題研究発表会」というのが12日と25日予定されていますが、1つは久留米市、1つは飯塚市教委ということで、市が発表したり、市教委が発表したりということが書いていますが、この内容についてもしお分かりになっていれば教えていただきたいというのが1点です。

各学校別でお尋ねしたいのが、東小学校2日、3年給食招待会というのがありますが具体的にどのような内容なのかというのがお尋ねです。

それから29日にキャリア教育が東小学校と中間小学校、西小学校に計画されています。通常の授業の内容で行われるのであれば、行事予定には上がってこないと思いますが、授業以外のことだと思いますので、このことについては何かお尋ねしたいと思います。

その次中間小学校、15日県の事業と思いますが「心に響く道徳教育推進研修会」がありますが、昨年中間小学校が県の同和教育の研究協力校で教材研究をされていた記憶がありますが、これも同じような内容なのか分かりませんのでお尋ねしたいと思います。

19日のサポート研修授業についてもお尋ねします。

続きまして、北小学校15日にビオトープについて。今ビオトープがあるのが東小学校だけで、他はまだ作られてないと思いますが、北小学校で作られた経緯か何か分かりましたら教えていただきたいと思います。

南小学校で26日音楽鑑賞会と書いていますので、これも通常の授業以外の行事だと思いますので教えていただければと思います。

最後になりますが、中学校ですが、中間中学校が9日と13日に弁当の日というのがあります。個人的には年に何回か中学生が弁当を持ってきて、保護者が作った弁当を食べるといい試みかと思っていますが、一方保護者の側からすれば、せっかく給食になったのに弁当かという、保護者の方からは弁当の日に対する疑問の声がよせられているのではないかと思います。特に10月は一週間に2回も弁当の日があるということは、保護者の方から何か声があがってないのかというのが1点です。以上です。

片平教育長

衛藤委員から8点質問がございました。それについて小野課長お願いいたします。

小野学習指導
課長

はい。まず県の重点課題ですが、久留米市と書いていますが、これは久留米市教育委員会が県の指定委嘱を受けております。内容としては、県の最重要課題というところで、久留米市教育委員会については、「思考力・判断力・表現力を身に付けた子どもの育成」ということを研究課題にして研究発表会が行われます。飯塚市教育委員会につきましては、生徒指導関係の研究発表会が行われる予定になっております。

東小学校の3年生の給食招待会ですが、これは東小学校で毎年行われている学校行事で、日頃お世話になっている自治会長さんや、登校指導、安全指導をしてくださっている方々を招待して、3年生がランチルームと一緒に給食を食べるという事業です。その中で日頃から子どもたちの安全を見守っていただいているということで、感謝の言葉を言ったりする取り組みです。5月の上旬には全校生徒ではそういった交流会は実施していますが、10月のこの日には給食に招待すると事業になっています。

29日の東小学校と中間小学校、西小学校の6年生のキャリア教育というのは、28日に中間市の事業でエタンセルフエスが行われます。ダンスでDAPAMPのKENZOさんがいらっしゃいますが、そちらが28日に来られますので、その次の日に今年度については、午前中に東小学校、西小学校、午後から中間小学校の方に行って簡単なダンス教室や将来の夢といったテーマで話をしてくださるという授業を組んでいます。教科では総

合的な学習の時間を使つての授業となっております。

中間小学校の「心に響く道徳教育推進研修」これは毎年県の研修会で道徳担当の先生方が集まって、授業を参観してその後研究協議をやるのですが、15日は中間小の先生が代表授業を行います。

サポート研究授業ですが、これは今若い先生方がたくさん採用されて入ってきています。普段県の教育事務所の指導主事の先生方の指導というのは、きちんと指導案を書いて、それについての指導となってくるのですが、このサポート研修というのは若年の先生が、指導案を抜きにして普通の、日頃の授業をみて、その中で気付いたこと、こういう風に取り組んだほうがいいという指導・助言をしてくださる事業となっております。その授業研修が19日に行われるということになります。

北小学校の北っ子ビオトープ落成式ですが、これは水源の森財団に北小学校が昨年度申し込んで、それに当選しました。財源はローソンが資金をだしてくれて、その資金で北小学校のビオトープを作ったということです。南小学校の音楽鑑賞会ですが、これは楽団を呼んで、今年度はサンバやリズム合わせ、楽器体験、ボディーパーカッション等の授業となっております。

中間中学校の弁当の日ですが、9日の弁当の日というのは東小学校の方で6日が東小学校フェスタで1日授業があります。その関係で9日に東小学校が振替休日、中間中学校は東小学校と親子給食になっていますので、この日は給食が作れない日なので、簡易給食はあるのですがそれにプラス、この日はおにぎりを作るという、親に頼むというよりは自分で弁当を作るという目的で、家庭科授業のひとつとしています。9日はパンはありますのでおにぎりを自分で作ってくるということです。13日の弁当の日については、この日は土曜日ですので授業参観を兼ねて、この日は給食は提供されませんので、弁当を自分で作るということです。もちろん保護者と相談しながら弁当を作るとなっております。以前私も中学校にいたときに、こういった弁当の日を毎年1回はやっていましたが、子どもも個性的な弁当を作って喜びますし、保護者の感想もその時取りましたが、その当時まだ給食は提供されていませんでしたので、普段から保護者の方が弁当を用意していましたが、「私たちの苦勞を子どもたちがしっかり分かってくれた」等の感想があつて、非常に好評でした。そういった内容です。以上です。

衛藤委員

サポート研修授業の方は、今内容は分かりましたが、これは中間小学校が県に派遣要請をしてする事業であるのかどうなのかというのが1点。若い

	先生方は他の学校にもたくさん在籍されていると思います。そうすると、他の学校については、このことについてはどうされているのかというお尋ねです。
小野学校指導課長	はい。中間小学校の方から県の事務所に希望がありました。このサポート研修授業は中間小学校だけではなくて、他の学校でも希望して実施されております。
衛藤委員	はい、わかりました。
坂口委員	南小学校の17日に避難訓練とあります。去年は水害、地震にしばらくいたのですが、これは目的によって訓練の仕方が違うと思います。今回はどのような災害、目的によってなされる訓練なのでしょう。
小野学校教育課長	こういった避難訓練等は年度当初の教育指導計画の中で計画的に実施されるもので、これは火災だと思えます。もし違っていればまた報告したいと思えます。
坂口委員	はい、了解です。
河本委員	北小学校の19日の人権の花感謝状贈呈式について教えていただきたいのと、西小学校の赤ちゃんふれあい体験事業と、東中学校に保育実習とありますが、これはまた別の内容かそれぞれ教えていただきたいと思えます。
小野学校指導課長	北小学校の人権の花感謝状贈呈式については、毎年各小学校持ち回りで、ひまわりの種をいただいて、それを育ててお礼の言葉を言ったりする内容になっています。今年度については北小学校が当番校になっています。西小学校の赤ちゃんふれあい体験事業については、これはすべての小中学校であるのですが、保健センターの方から保健師と、助産師の方に来ていただいて、新生児と同じ位の体重の赤ちゃんの人形や、助産師からは出産の時の大変さ命の大切さ。出産の時に亡くなったりすることもあるので、生まれてくることに感謝をする、命の大切さの話をしたりする授業になっています。保育実習については、中学校の方では幼稚園や保育園に実際に行って子どもたちの保育の指導にあたるという内容です。東中学校は3日位に分かれ

てあるのですが、幼稚園とさくら保育園に行くように計画しています。

河本委員 それと、北中学校の校区授業公開といいのは、保護者だけではなく、その校区にいる方々が参加できるということなのでしょうか。
それと東中学校のスクールクリーンボランティアの内容について教えていただきたいと思います。

小野学校指導 まず北中学校の校区授業公開については、北小学校、北中学校連携の事業で、この日は北中学校の先生が授業公開するので北小学校の先生方もそれに参加して研修会をするということです。
東中学校のスクールクリーンボランティアですが、東中学校の方はこれまでクリーンボランティアと言って自分たちの住んでいる地域の方でゴミ拾いを土曜授業に合わせてやっておりました。今年度については、東中学校はスクールクリーンボランティアということで、校内清掃活動を行います。以上です。

齊田委員 毎年10月か11月あたりにベストラントライアルという行事を小学生対象にやっていたと思います。今年はもう開催しないという話を聞いたのですが、それに替わるような行事をお考えなのか教えていただけたらと思います。

小野学校指導 県の事業でスポコン広場チャレンジランキングが行われています。この事業に市内全小学校が登録しています。内容としては大縄跳び、反復横跳び等色々な種目がありまして、そういったところにクラスで取り組んで行くという事です。時間的には、5分10分でできる内容です。大縄跳びが何回跳べたかとか。ですので、体育の授業の準備運動の代わりに、そういったことをやるということです。できた回数をネット上にあるスポコン広場というところに入力して行って、県下で何位にあるといったことが分かるようになっています。市教委としましては、スポコン広場に登録して県上位何位までを表彰というかたちで、ベストラントライアルをそういった事業に変えております。以上です。

齊田委員 他校と触れ合うようなところというのは、ベストラントライアル位しか感じられなかったもので、市内の小学校同士で関わられるような行事を考えていただけたらなと感じました。

小野学校指導 課長	検討したいと思います。
片平教育長	はい、他によろしいでしょうか。それでは、社会教育行事の方に移りたいと思います。大内課長お願いします。
大内生涯学習 課長	はい。6日土曜日になります。「市制60周年記念事業中間市民チャリティーゴルフ大会」があります。スポーツフェスタの一環になります。場所の方は遠賀のチサンカントリークラブ遠賀になります。時間は8時スタート、16時40分終了予定です。参加資格は中間市在住の方、中間市在勤の方となっています。定員は30組、4人1組で120名の先着となっています。表彰は、優勝、準優勝、3位、ブービー賞、敢闘賞等多数の賞を用意しております。7日日曜日です。「市制60周年記念事業なかまスポーツフェスタ」各種の競技があります。会場は体育文化センターで、8時30分から12時30分、スポーツ少年団による入場行進で始まり、中間南中学校吹奏楽部による吹奏楽の演奏があります。その後開会式がありまして、中間市オリジナルのなかっぱ体操で準備体操を行い、その後ニュースポーツのアジャタ、玉入れ競技を行い、予選及び決勝を行います。13日土曜日、14日日曜日「市制60周年記念コミュニティ文化祭」があります。今回の文化祭のテーマは「伝えよう 生きる喜びとともに学ぶあなたと」会場は中央公民館、働く婦人の家、中間市民図書館、人権センター、保健センター、体育文化センター、中間市立病院、子育て支援センターの8つの施設となっています。主催はコミュニティー文化祭実行委員会です。参加の団体は、親子フラダンス、伝統芸道場なかま、民謡、婦人会他約20団体が参加いたします。同じく14日日曜日「市制60周年記念事業ギラヴァンツ北九州サッカー教室」スポーツフェスタの一環となります。時刻は10時から12時を予定しています。場所は中間小学校のグラウンド、雨天の場合は体育館を利用する予定です。対象は年中、年長から中学生まで、先着70名です。講師はギラヴァンツ北九州のアカデミーの先生2名、アンダー18、アンダー15等のチームの先生をお招きして行う予定になっています。24日水曜日「青少年育成市民会議研修会」です。時刻は19時から20時、今のところ「子どもと電子メディアとの適切な係り方」が仮題になりますが、それで研修会を行います。内容としましては、電子メディアから子どもに与える影響や現状について、電子メディアへの依存を予防する対応策等を予定しています。講師は特定非営利活動法人子どもとメディアから荒牧直子様をお呼びします。対象は理事の方、支

部長、地区長、参加は40名を予定しております。28日日曜日「市制60周年記念事業第6回中間市小学生相撲大会」です。こちらもスポーツフェスタの一環となります。8時30分から開会式、12時までを予定しています。会場は中間南小学校を予定しています。競技方法は個人戦は1年生から6年生の学年別で行い、団体戦は先鋒、中堅、大将の3名で1チームを編成して行います。表彰は、個人戦、団体戦ともに3位まで表彰する予定です。参加者全員に参加賞があります。雨天の時は体育館を使用する予定です。

次に体育文化センターのほうです。20日土曜日、21日日曜日「第3回仰木彬記念中学校野球大会」です。中間市内4中学校及び他地区の中学校との交流試合を通じて、野球技術のレベルアップと、マナー向上を目指すとともに親睦を深めることを目的としています。場所は中間仰木彬記念球場、希望が丘高等学校、中間東中学校、鞍手中学校。主催は中間市教育委員会、主管は仰木彬記念中学校野球大会実行委員会、後援はミズノ株式会社となっています。試合の形式ですが、トーナメント形式で優勝、準優勝、3位を決定します。今年も昨年と同様16チームがエントリーしています。昨年は中間市内の4中学校が参加していましたが、今年は選手が少なく、合同でということで、中間市内は3チームとなっています。

図書館です。「小学生読書感想画コンクール作品展示」ということで、13日土曜日から11月9日金曜日まで市民図書館で展示をします。20日土曜日は「小学生読書感想画コンクール表彰式」で11時30分から行います。市内の小学生対象に9月4日から21日まで募集を行いました。今年は95作品です。表彰は市民図書館で行います。賞は市長賞、教育長賞、公民館長賞、ほっとブックなかま賞、図書館長賞の5点となっております。受賞者は賞状と図書カード、参加者全員に参加賞を用意しています。

ハーモニーホールです。8日月曜日『第20回中間市囲碁まつり大会「県民囲碁まつり」』です。10時に対局が開始して、18時を終了予定としております。会場は中間ハーモニーホール、募集人員は150名、主催は中間市文化振興財団、共催は日本棋院中間支部、後援は中間市教育委員会、協賛は日本棋院福岡県北支部連合会となっております。競技方法は6段以上の高位戦、5段から4段戦、3段から初段戦、大人の級位戦、小中学生の級位戦となっています。賞は優勝、準優勝、4勝賞、3勝賞、参加賞、小中学生級位戦、各パート別に優勝、準優勝、参加賞、1～10級があります。

生涯学習センターです。20日土曜日『なかま文化塾「わたしたちの遠賀

川、人と自然との闘い』10時から12時を予定しています。内容は遠賀川そのものをみつめよう、先日の豪雨であふれそうになって本当に大丈夫なのか、遠賀川と人々の暮らしなど。講師は遠賀川河川事務所河川環境課長の野呂健志様をお招きして講演を行います。対象は一般の方で50名程度を予定しています。以上になります。

片平教育長 はい、社会教育行事の説明がありましたが、週末に台風が接近しているということで、週末に行事があるものにつきましては、参加者や市民の安全を第一に考えて計画を立てて早めの対応をお願いしたいと思います。

大内生涯学習課長 今のところ台風が接近していますので、ゴルフ大会が6日なのですが、要綱が当日の朝7時に判断、決定しましてご連絡する予定です。

田中教育部長 遅すぎるのでは。

片平教育長 なるべく早めの対応で、決定していただかないといけませんね。お願いいたします。

衛藤委員 7日も一緒ですね。7日もフェスタがあります。これも8時半までに集合になっています。早めに連絡してもらえればありがたいです。

片平教育長 台風の進路が今回は福岡県に入っていますので、非常に危ないかと思いますのでよろしくお願します。

それでは、他に質問は。衛藤委員

衛藤委員 14日の60周年記念行事のギラヴァンツのサッカー教室ですが、子どもたちはサッカーしている少年が多いと思うのですよね。そういう面ではサッカー教室をどこかで開くというのは良いかと思いますが、これは周年行事ということで、今年だけの事業のような感じがいたしますが、今後こういう教室についてはどうなるのか、今後の計画等今の段階で話せる内容がありましたら教えていただきたいというのが1点です。

28日の60周年の記念式典が11時からありますよね。相撲大会が12時までと。わたしは両方とも行きたいと思っておりますが、だぶってしまうので、これはどうしたらいいのか後で教えていただきたいと思っております。

次は図書館です。28日にプラネタリウム鑑賞会というのがあります。これは毎年行われていますが、9月19日に北中学校でスペースウオッチが

行われていますが、その室内版という感じがいたしますが、これは参加人数がどのくらいになっているのかということ、スペースウオッチは夜間ということで保護者と一緒という集め方をしていましたが、これにつきましては子どもだけの参加なのか、保護者と一緒に学習していただくという、保護者をともなった参加なのか。それを教えていただきたいと思えます。

最後は生涯学習センターですが、全部の月を見ていないので全部とはいえませんが、8月、9月、10月、3か月間をみましたら、だいたいその3か月間は市民向けの講座が3つまたは4つとなっていて、これは運営については業者委託をされているとされて思えます。それで契約時に研修その他細かい内容を含めて示されているかどうか。研修その他について、講座その他については指定業者に任せなのか、自主運営なのか、その辺をひとつお尋ねしたいということ。もうひとつは、講座が真ん中頃の曜日、週に集中していますが、参加したい人は始めと真ん中と終わりにあれば参加できやすいというのがあると思いますが、これにつきましては色々な考え方があってのことと思えますが、真ん中ばかりに集中していることについて、講師の関係もあるかと思えますが、検討するべきではないかと思っています。その点が1点です。

それと、講座については市民の人たちを対象に、市民だけでなく、近隣市町村の人も参加をしていいと私は思いますが、近隣市町村への案内、呼びかけをすることによって、応募者が増えるし、参加者が増えれば講座の広がりもでてくるのではないかと思いますので、その辺はどうなっているのかなと思います。以上3点です。

片平教育長

はい、以上3点の質問がありました。大内課長お願いします。

大内生涯学習課長

10月14日のギラヴァンツ北九州サッカー教室は今回初めてということではなくて、はっきりした開催はこの場では分かりませんが、3回～4回目になりまして、毎年やっている行事で、サッカーが人気で要望もあるということ、体育協会の方からも今後行わないという話もでていないので、今のところ継続していくつもりです。

プラネタリウムですが、スペースウオッチは星座に関する講師の話聞いて、実際に天体望遠鏡を使って月や惑星を観測します。天体や宇宙への興味、関心を高めるとともに、親子ふれあいの機会を目的として、基本的には親と子のペアとしています。児童自身で星をみつけて、天体望遠鏡を操作しながら星の観測をするということです。くつきりした月のクレーター

であったり、星を見てもらうことが目的です。プラネタリウムの鑑賞会の方は、対象者が子どもから大人までということで、必ずしもペア、保護者というわけではありません。ただ未就学児童については必ず保護者同伴ということになっております。こちらのプラネタリウム鑑賞会の内容は実際天体望遠鏡ではなくて、プロジェクターで壁に映し出して、宇宙の映像を東区桃園にありました、プラネタリウムの解説員の方にお越しいただいて、星の神話や朗読、宇宙飛行士の話等をしていただきます。子どもには分かりやすく、大人にも分かりやすい解説をされると聞いております。割合は去年は子どもが10名、大人が21名で、大人の方が多かったと聞いております。

生涯学習センターの講座の内容なのですが、何講座以上とか、講座の内容については指示は行っておらず、指定業者である西日本医療の方にまかせています。西日本医療では顧客満足度の調査、アンケートをとりまして、要望等把握したうえで次の年に反映するかたちで講座を作っていただいています。

衛藤委員が言われましたように、講座が真ん中に集中気味ではありますが、実際は長期講座等ありまして、1年間通してやっているものなどは、毎週月曜日、毎週木曜日等あるのですが、それはこちらに書いておらず、主なものだけこちらに挙げさせていただいています。そのため真ん中が多くなっているように見えますが、実際は第2、第4木曜とか、毎週火曜日など行われています。

あと、中間市民だけでなく近隣市町村へということですが、実際広報なまに個別に折り込みチラシを入れて周知したり、公民館、本庁、さくら館や中間市内の公共施設にチラシを置いています。市外の方については遠賀町であったり、芦屋、水巻、八幡西区の公共施設のチラシを置かせていただいていますし、職員の方で地域はかぎられますが、約2000件ほどチラシを入れていると聞いています。

衛藤委員

意見ですが、プラネタリウムにつきましてはよく分りましたが、私も詳しいことは分かりませんが、星座の中には夏の星座と冬の星座ということで、違いがあると思いますが、スペースウォッチは主に夏の星座を中心にどういう星座の位置になっているのかというのを見ることができている状況になっていますので、できたらプラネタリウムは時期を少しずらして冬の星座を見せるとすれば子どもは夏の星座も冬の星座も分かるということで、興味をもっている子どもにとっては非常に1年間の状況がよく分っているのではないかと思いますので、次回から計画されるときは冬の星座の

	<p>方を中心に、せっかく専門家の方がお見えになるのであればその方が良いかと思えます。</p> <p>もうひとつは、生涯学習センターの分はよく分りましたが、今、中間市内に全戸配布されている無料の薄い冊子がありますよね。今度の60周年記念事業についても載せてありました。その冊子は市内も含め、遠賀・中間に配布されていますから、もし無料で情報提供できるのであれば、利用されれば近隣にも情報がいきわたるのではないかと思います。</p>
片平教育長	<p>よろしいでしょうか。そういったところを参考にして、周知が一番大事だと思いますのでよろしくお願ひしたいと思えます。</p> <p>他にございませんでしょうか。</p>
河本委員	<p>生涯学習センターの小学生プログラミング検定講座についてお聞きしたいのですが、将来的にプログラミングが授業に取り入れられるということで関心を持たれている方もいらっしゃるのですが、今どれくらい保護者と子ども達が、関心があるのかを知りたいので、参加者人数が分かりましたら、教えていただきたいと思えます。</p>
大内生涯学習課長	<p>こちらは、2020年度に小学校でプログラミング教育というのが必須化されるということで、こちらの講座の内容は基本的な考え方や習得、スキルを養うこと。検定講座は実際はやってなくて、検定対応のカリキュラムであると聞いています。人員はスペース、先生のキャパ等ありますので定員20名となっております。</p>
河本委員	<p>それに対してどれくらい集まるのでしょうか。</p>
大内生涯学習課長	<p>この場では定員20名しか分かりません。</p>
河本委員	<p>なるべく多く受講できるようにしていただきたいと思ひまして。非常にいい取り組みだと思ひますので、よろしくお願ひいたします。</p>
大内生涯学習課長	<p>はい、わかりました。</p>
坂口委員	<p>今の河本委員の続きなのですが、これは文部科学省が2020年から小学</p>

校でプログラミングが必修科目になりますよね。これは英検の教育実習のように、学校教育の中にそろそろ組み入れるということは考えられていないのでしょうか。先手必勝ではないのですが、すぐに2020年になりますし、これも必須科目になりますので。これはあくまでも意見です。そろそろ英検のように、教育実習のように学校教育の中に組み入れるという動きはあるのでしょうか。

小野学校指導
課長

学校の方ではそういった検定はないと思います。

坂口委員

まだ動きはないのですね。文部科学省のウェブページを見ていたら2020年から、小学校でプログラミングが必須科目になるということで、もう動いておかないと間に合わないじゃないかなと思いました。あっという間に再来年になってしまいます。

片平教育長

検定の対応はないのですが、プログラミング教育については先行実施ということを考えながら学校の中では進んでいます。

坂口委員

そうなのですね。了解しました。

片平教育長

よろしいでしょうか。
それでは続きまして、2点目の第2回中間市学校給食費検討委員会について、お願いします。

松永学校教育
課長

9月21日金曜日に、第2回中間市学校給食費検討委員会を開催いたしました。話し合われた内容は2件です。1件目は「平成31年度の学校給食費の値上げについて」、2件目は「学校給食費の無償化について」です。内容を簡単にご説明致しますと、消費税が平成31年10月に、8%から10%にあがる予定となっております。全体的な物価の上昇が考えられることから、来年の学校給食費について、いくらにすることがいいのか、委員の方々から意見をいただきました。結果は、小学生が4,300円、中学校が5,300円という意見が大勢を占めました。2件目の学校給食費の無償化につきましては、全国で無償化を実施している市町村の調査結果を受けまして、委員の皆さんの感想、ご意見を伺いました。お一人の意見といたしましては、財源が確保できてないということではありますが、子どもたちを育てていくという意味では、食事は大切になるので、無償化と

いうことはいいと思いますが、その他のところで増税となると、子育て世代の保護者には納得いただけるところはあると思うが、高齢化も進んでいるので、子育て世代以外の方の負担が増えるというのはどうなのかという意見がありました。

またふるさと納税による寄付金を財源として無償化を計画することについては、市の財政課の意見として、平成29年度の一般会計の決算では約3億う4千万円の収入であります。インターネットの経費や市内から市外への寄付に係る分を引きますと、純粋な寄付金収入額はおよそ1億2千万円とであります。この寄付金をすべて給食無償化にあてるのは難しいのではないかとのことでした。以上です。

片平教育長 はい、ただ今2点学校給食費の値上げについてと、給食無償化について説明がございました。この件について何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。

衛藤委員 来年もし消費税にともなって給食費が上がるとすれば、4,300円といえは400円から500円上がるのでしょうか。

松永学校教育課長 そうです。現在小学生が3,900円から4,300円で月額400円上がることになります。

衛藤委員 中学校もそうですか。

松永学校教育課長 中学校は4,800円から5,300円ということで500円上げるといことで意見が大勢を占めました。

片平教育長 よろしいでしょうか。

衛藤委員 結局、実質消費税は今より2%上がるわけですね。8%が10%になるので。そうすると2%分として400円であったり、500円であったりするわけですが、どのような計算になるのでしょうか。

片平教育長 物価の上昇も伴いますので、その辺についても松永課長。

松永学校教育課長 先日もお話ししたように、食材については軽減税率で8%のままです。ですが、他の物価が8%から10%に上がるので、全体的な消費者物価が上

がるということが想定されています。前回の消費税増税の5%から8%に上がったときに、3%上がっているのですが、物価も3%ちょっと上がっているという報告があります。その際に学校給食費について値上げをしているのですが、その時も小学校は3,500円から3,900円、400円上げています。今回の検討委員会の中で400円という学校教育課の提案でしたのですが、皆様の意見がそれが妥当ではないかという意見になりました。中学校について500円と、少し高いのですが、これについては栄養価が、小学生の1.3倍ということがありますので、食事の量もあるということで、それを考えますと1.3倍、500円と考えまして提案いたしました。

衛藤委員

わかりました。

片平教育長

よろしいでしょうか。

他にございませんでしょうか。

それでは続きまして、中間市小学校体育会について、この体育会も台風の影響を受けまして日曜日から火曜日に延期になって、昨日体育会がひらかれております。体育会に参加していただいておりますので、状況等についてお願いします。

衛藤委員

私のほうから。私は昨日西小学校に行ってまいりました。西小学校の体育会は「ひとりひとりが仲間を信じ勝利の道をきりひらけ」というのがスローガンでしたが、演技は8時45分から12時30分まで行われました。具体的な内容は新入児の演技とPTA種目をなくした関係で、12時半までで終わりました。演技の内容については、各学年とも全学年の児童が真剣で、一生懸命頑張っており、すばらしいと思いながら、子どもたちが頑張っていることに感動を覚えました。演技一つひとつに先生の指導が行き届いていると思われるようなきびきびとした動きや、ひとりひとりが自分の持っている力を出しきろうという演技をしていたのが印象的でした。学校としても、校長先生がスターターをされていたり、5、6年生の組体操に参加されてる先生方が児童と同じはちまきをしめて参加して、サポート体制がきちんとしていたり、学校全体として体育会を盛り上げようという態度や意気込みが伝わってきました。開催日が平日だったので、保護者の参加は減るかも知れないと思って見ていましたが、保護者も予想以上に沢山お見えになっていて子どもたちも演技が終わった後に保護者の方から大きな拍手が、それぞれの競技一つひとつに出ていたのが演技の励みにな

ったのではないかと考えています。以上です。

河本委員

私は南小学校に行ってまいりました。さわやかな秋晴れのもと、生徒たちの整然と、きびきびとした態度とともに大きな声につつまれながら開会式が行われ、プログラムも表現と競技を上手に組み合わせたとても見応えのある素晴らしい運動会でした。スローガンは「みんなで協力最後まで全力」でした。私はスローガンは校長先生が決められるものだと思っていましたが、各クラスから一言、例えば「協力」「全力」という言葉を集め、児童会の生徒が話し合って決定した言葉だということを校長先生から説明をうけました。校長先生のお話の中にも「スローガンにそって協力し合い、転んでも最後まであきらめずに全力をつくし、正々堂々とルールを守り、一生懸命な姿に期待しています。」という言葉がありましたが、演技中に間違っている子にさり気なく注意してあげる子がいたり、転んでも諦めずに最後まで走り通すという目標を達成できた運動会であったと思います。また、一つひとつの演技が非常に工夫がなされており、綱引きでは全員が綱引きをするのではなく、半数の人たちが綱引きをしている間に半数の人たちは掛け声とともに運動場を半周して、途中で綱引きに入って引っ張ったり、玉入れひとつにしても、それぞれのチームに高いかごと低いかが用意されていて、高いかごに入った玉は得点が2倍になっていて、見ていてわくわくしてとても楽しめる運動会でした。表現のダンスではそれぞれの学年がそれぞれの方法で衣装や小道具に工夫がなされ難易度の高いダンスでも子ども達はとても楽しそうに生き生きと踊っていて、檀上の先生のダンスも素晴らしく、保護者の注目を集めていました。小学校では珍しく応援合戦があり、小学校とは思えない迫力の演技がなされ、練習の成果を感じました、入場門の横で紅組、白組の応援団がずっと応援している姿もとっても印象的でした。圧巻だったのは6年生の組体操でした。映画の音楽と共に、大きな赤い旗を持った演技から始まり、まるで運動会が劇場であるかのように、繰り広げられた倒立や、波に見立てた動きや組体操は、高さこそ4段まででしたが、音楽とともに美しい配置でとり行われ、まるでショーを見ているかのようなようでした。近年怪我により組体操が見直され、中止となる学校が増えさびしい気がしておりましたが、このようなやり方でみている人を感動させることができると考えさせられた演技でした。朝、校長先生にお会いしたとき、今日は平日の運動会となり保護者が少ないのが残念ですとおっしゃっていましたが、それだけ一生懸命取り組まれた運動会であったのだと思います。生徒たちのきらきらした様子が目に焼きつくような素晴らしい運動会でした。以上でございます。

坂口委員

私は中間小学校に行つてまいりました。平日の運動会ということで保護者の方は通常の半分でしたが、敬老席は満員でした。学校側は毎年保護者の前日又は早朝からの場所取りに非常に頭を悩まされていたとの事で、去年より公正を期して、くじ引きで場所を決めてからというもの、体育会運営のスタートがスムーズにできるようになったと言われていました。中間小学校のスローガンは「全力こころをひとつに」でした。なにより5、6年生が気合いをいれてしっかりと頑張っており、低学年によく声をかけ、導き、引き上げている様子が見てとれました。このようにたった3週間で練習して、短い期間で仕上げ、完成までよくもってこられたものだと、指導された先生方の人間力、情熱を強く感じました。私は先生がたのそれぞれの動きに着眼しておりました。自分の持ち場、持ち場の任務を迅速に果たし、それも笑顔で、生徒たちにはアイコンタクトを含め、コミュニケーションツールをしっかりと使って、それぞれを支えていました。さらに企画、運営においても、組織力がしっかりしており、体育会という行事を通じてしっかりとした学校経営の一端を垣間見た思いでした。そして、演技の構成力もよく、緩急のメリハリも素晴らしかったです。特に印象に残ったのは騎馬戦でした。騎馬戦は中間小学校初めての試みということで、女子は男子の大將おとしとは違い、先に帽子を取られたほうが負けというルールでした。男子の2回戦では1騎に3騎がおそいかかるという、笑いあり、本気のつかみあいありで迫力満点でした。「彼を知り己を知れば百戦危うからず」でした。平成最後の運動会ということで、みんな気合いが入っていました。体育会を通じて今日という日を最高の1日にすることができ、学校全体の絆が深まったのではないだろうかと思いました。以上でございます。

田中教育部長

私は北小学校に行つてまいりました。子どもたちも元気がよく、競走では小学校1年生が40m、上級生になりますと75mと、走る距離が倍くらい変わっておりました。見ていて気が付いたのは、これは子どもではないのですが、先生のスタートのタイミングがなかなか難しく、出遅れる子どもがかなりいたような気がいたしました。踊りも1年生なのによくこんなに覚えたなという位に、立派なダンスができておりました。午前中最後は炭坑節でしめたわけですが、炭坑節を全校生徒、保護者、地域の皆様も一緒に参加してくれということでございました。最初は大人はでてくるのかなと心配しておりましたが、かなり出てこられて、保護者につきましては自分の子どもと一緒に炭坑節を踊れることを、楽しんでいるように感じ

ました。校長先生によると、今年はお揃いのポロシャツを揃えましたとのことでした。青のポロシャツで犬のデザインが入っていましたが、犬のデザインも教員がデザインされたということでした。それと、中心的に指導をしている先生が1年目、2年目の若手教員に任せており、今日はとても頑張っているということで、この体育会が若手教員の育成の場にもなっているのだということを感じました。以上です。

村上教育施設
課長

私は底井野小学校にまいりました。スローガンが「みんなで協力し最後まで全力でがんばろう」というものでございましたが、その言葉どおりダンスや組体操は心を一つに感動するような演技を見せていただきました。また、特にリレー等では速さに差のある子もいらっしゃいますが、周辺から熱い声援を送られて、最後まで走りきっていました。集中力も途切れることなく、元気はつらつな演技を全体的に感じたところでございます。以上です。

片平教育長

ありがとうございました。とても素晴らしい運動会ができたのではなかろうかと、安心しております。
それでは4番目のその他にはいりたいと思います。その他について何かございませんでしょうか。

大内生涯学習
課長

報告事項になりますが、少年の主張大会ですが、6月9日土曜日、平成30年度第26回の中間市少年の主張大会の主催が中間市青少年育成市民会議が中央公民館で開催されました。各中学校より3名のエントリーがありまして、合計12名なのですが、福岡県の大会にエントリーをしました。その中から中間北中学校の伊福千夏さんの作品が「誰もが気持ちよい社会へ」が福岡県大会において奨励賞に入賞しております。他の方は残念ながら入賞しなかった作品ですが、審査員の感動と深い感銘を受けたと聞いています。

もう一点ですが、9月12日水曜日に親子スペースウオッチの講座が、中間北中学校で19時から20時半に開催されました。参加人数は12組29名。講師は中間天体観測倶楽部スピカの古寺様、中島様をお招きして開催しております。天候は当初曇りで運動場で設置しようとしていたのですが、途中で雨が降り始めまして、室内の講座に変更になっています。講座の内容ですが、星座のDVDの視聴、星座の早見版作成、天体望遠鏡の操作のやり方を教わっています。天体望遠鏡は中間小学校と中間南中学校から借用しているのですが、先生の方からも高性能な天体望遠鏡を4台準備

していただきました。その天体望遠鏡の操作、児童自身が操作して星にピントを合わせて、実際のぞいて、初めてみる星に感動するのかなと思います。今回雨天で天体望遠鏡を使つての星座鑑賞は実際できなかったのですが、次回期待したいと思います。以上になります。

片平教育長 はい、他にございませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは協議事項に入らせていただきます。平成30年11月定例教育委員会の開催についてお願いします。

松永学校教育課長 はい。11月の教育委員会の日程につきましては、予定通り11月1日木曜日午前10時といたしたいのですが、いかがでしょうか。ご協議をお願いいたします。

片平教育長 はい、11月1日木曜日の10時でよろしいでしょうか。

各委員 はい。

片平教育長 それではよろしく願いいたします。
その他ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは平成30年10月定例教育委員会を終わります。

おつかれさまでした。

[閉会時刻：11時12分]